

# U40 建築賞

I 新築の建物

I-3 商業・業務・交通系・宿泊・その他の建物



設計担当者

## 木南達也

(株)竹中工務店、大阪府建築士会

事務所／兵庫県尼崎市金楽寺町

### タクマビル新館(研修センター)

構造 | 木造、鉄骨造

階数 | 地上6階・屋上1階

敷地面積 | 8,659.44㎡

建築面積 | 707.89㎡

延べ面積 | 3,334.35㎡

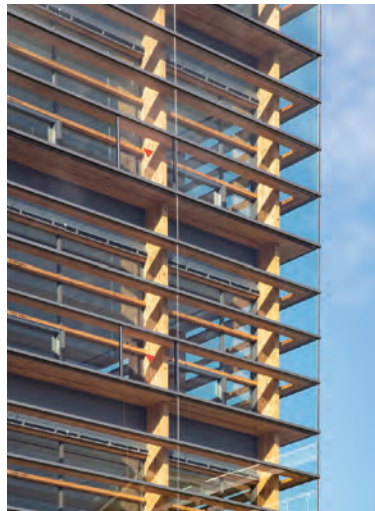
竣工年 | 令和1年



1



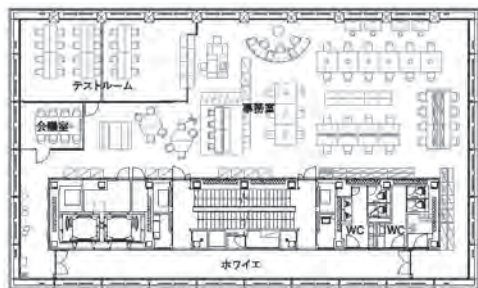
2



3

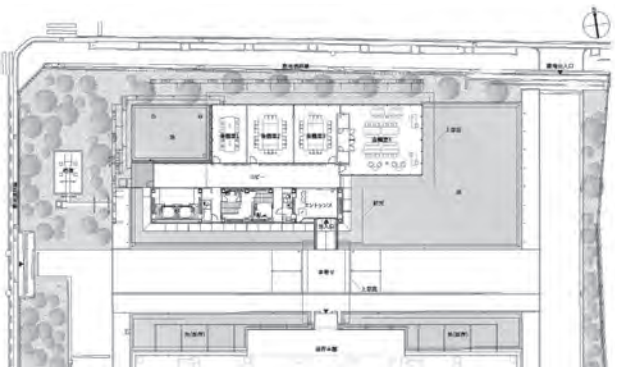


4



基準階平面図(プランは3階を示す)

- 凡例
- 耐震CLTパネル
  - 耐火集成材柱



配置図兼1階平面図

- 1 既存本館と調和し、木材をまちに透過させる外観
- 2 CLTのアイランドコアを背景に既存本館と視線が行き交うホワイエ
- 3 スリムな架構を実現した集成材ダブルスキン
- 4 現しの木をどこにいても感じられるワークスペース

## 選評

本プロジェクトはバイオマスプラント事業も手掛けるボイラー・プラントメーカーの研修所・事務所であり、木を活用したオフィスにするところから設計がスタートしている。

その特徴は、構造的には鉄骨造を主としながらも柱を耐火集成材、耐震要素をCLTパネルとしアイランド型のコアに集中配置したこと、外装は集成材によるダブルスキンのガラスカーテンウォール、内装はCLTなどで木質化を進

めたことである。その結果、ふんだんな木に囲まれ、同時に四周に開いた開放的のオフィス空間を生み出していて、木による「フレーム+コア+カーテンウォール」という簡潔な構成は中規模木造オフィスのプロトタイプといえる水準になっている。

ディテールに目を移すと基礎免震構造を採用し、コア部に大半の地震力を負担させていることで柱やカーテンウォールの部材寸法はスレ

ンダーである。またマリオン・無目の接合金物は見えないように工夫されていて完成度が高い。

地域に対しては長年親しまれてきた池を残して、この建築の前景として生かし、既存の本館とともに歩道沿いに領域間のあるオープンスペースを形成していることは共感できる。

この完成度が高い建築を若くして実現したことはU40建築賞に値するものである。(箄島 亮)